

教団新報

定 価 1 部 140 円 (本 体 133 円 千 共 200 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,000 円
紙 代 の み 3,500 円
振 替 00140 - 9 - 145275
本 紙 を 購 読 ご 希 望 の 方 は、前 金 を
そ へ て、お 近 く の キ リ ス ト 教 書 店
へ お 申 し 込 み 下 さ い。
教 会 の 購 読 料 は 負 担 金 に 含 み ま す。

発 行 所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東 京 都 新 宿 区 西 早 稲 田 2-3-18
日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発 行 人 内 藤 留 幸
編 集 主 筆 竹 澤 知 代 志
印 刷 所 株 式 会 社 き か ん し



▲シャローム教会

八丈島教会 (東京教区、東支区)



▲大賀郷教会

万物の終わりが迫っています

この緊迫感のなかでペトロは語りま
す。こゝでの「終
り」は同時に《神の
国の完成》であり、
《キリストの再臨》
でもあります。主は
言われます。「その
日、その時は、だれ
も知らない。天使だ
ちも知らない。父
だけがご存じであ
る。気をつけて、目
を覚ましていなさい。その
時がいつなのか、あなたが
たには分からないからであ
る。人の子は思いがけない
ときに来る」使徒ペトロは
この主のみ言葉の通りに宣

何よりもまず、愛し合いなさい

ベ伝えているのです。
ここで我々は問われま
す。「あなたはほんとうに
《待つて》いるか？ 自分
……………
すべてのことに優
って愛し合うことが
求められています。
物事の優先順位が
わからなくなった状
態をパニックと言
います。もしかしら
ば世界は、そして私
ち自身は、慢性的な
パニック状態に陥
っているのかも知れ
ません。第一のものは
第一に、というこ
ろに繰り返し立ち返って

心を込めて

「これは「熱心」
ということであり、
かつ「根気強く・絶
え間なく」というこ
とです。
その源は「コリ
ント13章に「すべて
を忍び、すべてを信
じ、すべてを望み、すべて
に耐える」といわれてい
る……………
互いに愛し合いなさい」と
いうキリスト・イエスのみ
言葉を空しいものにしては
なりません。
……………
大勢の人が集まる教会会
議の場で、あるいはそれぞ
れの立場から発行されてい
る機関誌を読むとき、しば
しば、ある違和感を感じま
す。誰かの美しさすばらし
きよりも、欠けているこ
ろを強調し、時には人格そ
のものを否定する態度すら
うかがえます。「わたしがあ
なたがたを愛したように、
互いに愛し合いなさい」と
神がどんなに大きな忍耐
をもつてわたしを顧みてく
ださっているのかを知る者
が、忍耐をもつて愛と思い
やりの心を養っていくこと
へと向かわされていくので
す。

不平を言わずにもてなし合いなさい

現代日本において
《もてなす》と言つと
き、もっぱらご馳走
を振舞う意味で用い
られているよう
です。
聖書においてそれ
は、旅人・寄留者を客
として自分の家に招
き入れることであ
り、旧約いづれで
も重要視されていま
す。
アブラハムは3人
の天使を、それと気
づかずにもてなしま
した。
主イエス・キリス
トご自身が、もてなす方
であり、もてなしを受ける方
でもあります。「お前たち
は、わたしが飢えていたと
きに食べさせ、のどが渇い
ていたときに飲ませ、旅を
していたときに宿を貸し、
……………
神の愛です。
常に祈りにおいて、神の
無条件で無限の愛を受け取
らせていただくことによ
って、互いに愛し合う生き方
へと導かれていくのです。
神がどんなに大きな忍耐
をもつてわたしを顧みてく
ださっているのかを知る者
が、忍耐をもつて愛と思い
やりの心を養っていくこと
へと向かわされていくので
す。

互いに仕え合いなさい

「万物の終わりが
迫っている」その時
にあって、もう一つ
求められているこ
と、それが《互いに
仕え合う》ことです。
弟子たちは、主イ
エス・キリストの地
上での生涯の最後に
至るまで、「自分たち
のうちでだれがいち
ばん偉いか」を論じ
合っていました。
これがこの世の価値観で
あり、キリスト者にとつて
は、ボンヘッファーが述べ
ているように「それによ
って交わりの生死が決定す
るようなおそろべき争い」が
そこから生じるのです。
主イエスは言われます。
「異邦人の間では、王が民
を支配し、民の上に権力を
振るう者が守護者と呼ばれ
ている。しかし、あなたが
たはそれではない。あ
なたがたの中でいちばん偉
い人は、いちばん若い者の
……………
インシアティヴが放棄され
ているかどうかにある。」
(鷲田清二「待つ」というこ
とと角川選書
聖書によれば人はみな旅
人であり寄留者なのです
から、もてなすことは私たち
の日常生活のただなかにあ
る事柄と言えます。
《わたし》のインシアティ
ヴ……………
「万物の終わりが
迫っている」その時
にあって、もう一つ
求められているこ
と、それが《互いに
仕え合う》ことです。
弟子たちは、主イ
エス・キリストの地
上での生涯の最後に
至るまで、「自分たち
のうちでだれがいち
ばん偉いか」を論じ
合っていました。
これがこの世の価値観で
あり、キリスト者にとつて
は、ボンヘッファーが述べ
ているように「それによ
って交わりの生死が決定す
るようなおそろべき争い」が
そこから生じるのです。
主イエスは言われます。
「異邦人の間では、王が民
を支配し、民の上に権力を
振るう者が守護者と呼ばれ
ている。しかし、あなたが
たはそれではない。あ
なたがたの中でいちばん偉
い人は、いちばん若い者の
……………
イニシアティヴが放棄され
ているかどうかにある。」
(鷲田清二「待つ」というこ
とと角川選書
聖書によれば人はみな旅
人であり寄留者なのです
から、もてなすことは私たち
の日常生活のただなかにあ
る事柄と言えます。
《わたし》のインシアティ
ヴ……………
「万物の終わりが
迫っている」その時
にあって、もう一つ
求められているこ
と、それが《互いに
仕え合う》ことです。
弟子たちは、主イ
エス・キリストの地
上での生涯の最後に
至るまで、「自分たち
のうちでだれがいち
ばん偉いか」を論じ
合っていました。
これがこの世の価値観で
あり、キリスト者にとつて
は、ボンヘッファーが述べ
ているように「それによ
って交わりの生死が決定す
るようなおそろべき争い」が
そこから生じるのです。
主イエスは言われます。
「異邦人の間では、王が民
を支配し、民の上に権力を
振るう者が守護者と呼ばれ
ている。しかし、あなたが
たはそれではない。あ
なたがたの中でいちばん偉
い人は、いちばん若い者の
……………

ただ神にのみ栄光あれ

「栄光と力とが、
世々限りなく神にありま
すように。アーメン。」
(八丈島教会牧師
……………
2003年5月、旧八丈
島教会と旧八丈島シャロ
ーム教会とが合併し、現在
の八丈島教会となった。

メッセージ

ペトロの手紙Ⅰ 4章7〜11節

何よりもまず、愛し合いなさい



一之木幸男



▼ケン・フ
レットの『大
聖堂：果てし
なき世界』を
読み終えた。
読み終えた
と言つと、随分大袈裟な表現
に聞こえるかも知れない。
神学書や哲学書ではなく、
通俗的な小説に過ぎないの
に。しかし、前作『大聖堂』と
併せれば、文庫本6冊で3
810頁、しかも、前作との
間に10年の間がある。読み
終えたが実感だ。▼前後両
作品が舞台にするのは、1
2351174年、そして1327
1361年、
大聖堂建設を背景に、修道
院とその門前町を主な舞台
として、多くの登場人物が
描き出される。一方で、ケン
・フォレットらしくテンポ
早い物語の展開、思つく間
もなく読んでしまったとも
言える。▼日本伝道150
年の記念行事を持たくら
いだから当然だが、創立1
00年を超える教会が多く
なった。今年創立100年
を迎えるのは、1910年・
明治43年に立てられた教
会、戦後1945年に立て
られた教会も今年65歳にな
る。戦後の教会もごくぞく
と還暦まもなく古希を迎え
る計算だ。還暦・古希・後期
高齢者、そんな雰囲気もあ
る。会堂の老朽化、会員の高
齢化に悩む教会も少なくない。
▼しかし、『大聖堂』の物
差しで測れば、未だ未だほ
んの幼児期だ。そもそも、大
聖堂ともなれば、100年
200年、何世代もの大工
によって建てられるのが当
たり前だ。未だ未だこれか

新しい伝道協力の可能性

教区伝道委員長会議



山口陽一東京基督神学校校長による講演

第36総会期「教区伝道委員長会議」は、6月28日(月)29日(火)、仙台東六番丁教会を会場に、25名の出席者をもって開催された(北海教区、京都教区、沖縄教区は欠席)。

今回の講師には、山口陽一氏(東京基督神学校校長・日本同盟基督教団市川福音

キリスト教会牧師)を迎え、二日にわたり、「新しい伝道協力の可能性」と題する主

題講演を聴いた。

1日目の講演は「福音主義自由教会の宣教協力」として、山口氏自身が教団から他教派への転籍および献身の経験を通して示された日本のプロテスタント教会

全体の相互理解と連携の可能性について、日本伝道150年の歴史を振り返りつつ語った。

これに続いて各教区報告と協議の時間が持たれたが、いくつかの教区から教会互助の問題が挙げられたものの、ここではそれ以上に伝道にあたっての、託された各地域の特質や課題を率直に分ち合い、また活発な意見交換も行われて、大変意義深い話し合いの時間となった。

また、今総会期の伝道委員会においてたびたび話し合われた「伝道局」の構想についても、その幻を分かち合うことができた。これも山口氏の講演から大いに刺激を受けた結果であろう。

2日目は「地域・各分野における伝道協力の可能性」と題する講演が行われ

た。ここで強調されたのは、具体的な形で「伝道協力」を結実させるためには、教団の働きが欠かせないということであった。そのためにも、我々は「内向き」である現状を克服し、教派の垣根を超えて互いを知り合い、祈り合う関係を構築することが必要であるということが示された。

今回の教区伝道委員長会議を通して、日本全体の伝道を考えた時に欠かすことのできない「伝道協力」を進めるためにも、教団全体としてのいよいよ具体的な取り組みに入るべき段階が来ていることを痛感させられた。

今、我々の取り組むべき

「伝道のビジョンがこれほどまでに具体的な形で提示されたことに感謝し、教団が「伝道共同体」として立ち上がっていくことを祈り願って散会した。

(北川善也報)

伝道アイデアアンケート実施

第5回伝道委員会

第36総会期第5回伝道委員会が6月29日(火)30日(水)宮城野愛泉教会にて開催された。前日より仙台東六番丁教会にて開催された「編集委員会報告、教誨師教区代表者報告、各担当委員、担当幹事から詳細になされ、すべて承認された。特に「信徒の友」

の友」編集委員会報告、教誨師教区代表者報告、各担当委員、担当幹事から詳細になされ、すべて承認された。特に「信徒の友」

の友」編集委員会報告、教誨師教区代表者報告、各担当委員、担当幹事から詳細になされ、すべて承認された。特に「信徒の友」



仙台市郊外、宮城野愛泉教会を会場に

性を探ること」の二点の内容について触れることを確認した。

最後に、小林克哉委員の奨励により宮城野愛泉教会の牧師・教会員の方々と祈りを合わせる恵みの時が与えられ、感謝であった。

(岩田昌路報)

役員任職式等の諮問 3件に答申

第6回信仰職制委員会

第36総会期の第6回信仰職制委員会が7月5日(月)に、委員7名全員の出席のもと教団遺愛会議室で行われた。

今回、内藤留幸教団総幹事からの3つの諮問に対して以下の答申(概略)が出された。

諮問

(一) 教会規則に定める役員任職式(就任式)を執り行わないことは、主任担任教師の裁量の範囲内

と言えるか。

(二) 教会規則に「毎年一回4月に招集する」と定められた定期教会総会を当該月に招集しないことは許されるか。

(三) 教区常置委員会の審判委員会が「戒規無効」の判断(最終判断)を出したにも拘わらず、教会においてなお当該戒規(陪餐停止)を継続することはできるか。

また教区の審判に従わない教師に対して、教会

として取り得る対応にはどのようなものがあるか。

答申

(一) 裁量の範囲とは言えませんが、主任担任教師は、教会規則に役員任職式の定めがあれば、その定めるところに従わなければならない。

(二) 主任担任教師が、教会規則に定められた定期教会総会を当該月に招集しないことは許されません。(教規第95条)

(三) 教区常置委員会の審判委員会が無効と最終的に判断した戒規を、継続することは許されません。

また、教区の審判に従わない教師に対して取り得る対応は、①教規第66条による教区への訴願、②教規第112条による解任、③教規第142条による戒規の申し立てなどがあります。

2002年に『教憲教規

牧会者ならびにその家族の精神的ケアを考える

『障がい』を考える全国交流会

6月22、23日、『障がい』を考える全国交流会がルーテル市ヶ谷センタ1において、参加者46名で開催された。

今回は、4年に一度開催されている通常の全国交流会とは分けて、委員

会において特別に企画された。

それは、牧会者やその家族が精神的に大きな負担を感じ、教会での働きができなくなったり、自死に至るケースも起こっている現実を踏まえ、この問題に取り組むことは急務だと考えたからである。

これをきっかけに、教団全体が牧会者ならびにその家族の精神的ケアの問題に取り組んで行ければと願っている。

講師には柿ノ木坂教会員で精神科医の石丸昌彦氏を迎えた。牧会者とその家族が抱えるメンタルヘルス、特に「うつ病」の問題、自殺問題、聖職者の感情労働(対人サービスの職種において感情が労働の大きな要素となるもの、医師、看護師、教師、聖職者などの職業が抱える労働)の問題、これらの問題に対する対策を中心に講演が行われた。

信徒の立場から、かつ精神科医の立場から、「聖職者とその家族を何とか支えたい」という石丸医師の熱い思いが伝わってくる内容で、多くの参加者が励ましを受けたことと思う。

また、講演を受け、6つの分団に分かれて、講演に対する感想や質問、自分が牧会している教会の問題や、自身が背負っている課題を共有しあう時間も持った。

参加者から「このよう

(加藤幹夫報)

全国社会委員長会議を受けて

第 5 回社会委員会

7月6日～7日、第36総会期第5回社会委員会が開催された。

担当幹事及び担当職員より教務・業務報告及び常務員会報告、会計報告を受けた。この際、海外自然災害救援募金について、締め切り日を決定した。

宣教委員会報告を、福井博文社会委員長より受けた。宣教方策会議の反省、宣教委員会の今後の展望について協議されていることが報告された。引き続き、「障がい」を考える全国交流会の報告を受けた。

日本キリスト教社会事業同盟総会・研修会、日本キリスト教保育所同盟理事会・総会の報告を担当委員から受けた。また、靖国・天皇制問題小委員会の報告を

7月6日～7日、第36総会期第5回社会委員会が開催された。7月5日～6日まで行われた全国社会委員長会議の反省を行った。準備段階において反省すべき点がいくつか挙げられた。1日目の講演については、命について学ぶべき研鑽の時となった。2日目の教区社会委員長報告及び全体会議については、数人から出された要望について協議を行い、社会委員会1日目の議事を終えた。2日目は、社会委員会通信第47号に関する件「第37回教団総会報告に関する件」を、それぞれ協議した。

「社会委員会通信」第47号は、全国社会委員長会議の1日目に講演してくださった木村利人先生の講演内容を中心に、10月末頃発行で

前者の内容は①真実を告げる。②検査の内容と目的を告げる。③処置の仕方を提案する。④選択を委ねる。⑤リスクを説明する。⑥治療しない場合どうなるかを告げる。⑦納得したか確認する。⑧セカンド・オピニオンを告げる等である。日本ではまだ充分な理解と実施がなされていない。従って、本人に癌の告知がなされない。告知し苦痛を分かち合い、互いに祈ることが出来ることを望む。

後者については、この度臓器移植法が成立した。しかし、家族の同意で移植が

可能になり自己決定権がややふやになったことに課題が残されている。

講演後休憩を取り、質疑応答がなされた。臓器再生の研究が進んでいる、公共倫理の観点から教会は価値基準の提供ができるかとの問いに、キリスト者の立場から提言していく必要があることが確認された。

2日目は各教区社会委員

長からそれぞれの教区での取り組みが報告された。米軍基地反対運動の支援、原発及びプルサーマル導入計画への反対と監視、教会におけるセクシュアル・ハラスメントの予防と対策、部落解放センターへの支援、カルト問題への対応、平和集会の充実、裁判員制度を考える、路上生活者支援、在日韓国・朝鮮人差別の解

消、ハンセン病問題を考える、アイヌ差別撤廃への取り組み等である。

次に、全体会議が森田恭一郎委員の司会で行われた。その中で全体会議の持ち方及び委員長会議の開催時期等についての意見交換がなされた。最後に、上森俊明委員による閉会祈禱で終了した。

(福井博文報)

子さん。

牧野富士男氏(隠退教師) 10年5月25日、逝去。81歳。静岡県に生まれる。日本聖書神学校を卒業後、52年沼津教会に赴任、荒尾教会、美竹教会、真駒内教会を経て、'90年より00年まで利別教会を牧会した。遺族は、妹・角馴子さん。

三井 賢氏(市川教会牧師) 10年6月4日、逝去。68歳。東京都に生まれる。'72年日本聖書神学校を卒業後、敬和学園高校に勤務、'81年より市川教会を牧会した。遺族は妻・三井正栄さん。

広田 一郎氏(隠退教師) 10年7月22日逝去。69歳。東京都に生まれる。'69年日本聖書神学校を卒業、同年小石川白山教会に赴任し'74年まで務め退任。'84年より

事務局報

補教師登録

中村 栄 (2009・12・13受允)

深渡 歩 (2010・5・5受允)

鈴木由加子、小林 護、吉武真理、小川洋二、久保哲哉、川村尚弘、吉岡恵生、松谷祐二 (2010・5・10受允)

上田容功、野口佳男、大橋 章 (2010・5・24受允)

及川和枝、川上直哉、田尻かおり、荒井偉作、飯岡洋介 (2010・5・25受允)

小林則義、許昌範、渡辺健一、本城仰太、佐藤さゆり (2010・5・26受允)

山口紀子 (2010・5・30受允)

相見宗郎、川上清己 (2010・6・26受允)

正教師登録

西間木公孝

お詫び・訂正

4704005号2面常議員選挙、全数連記を提案へ記事、8段目「高橋潤常議員」を「高橋豊常議員」にお詫びして訂正いたします。



インフォームド・コンセントの重要性と臓器移植の問題で

7月5日～6日、教団会議室で第36総会期全国社会委員長会議が開催された。福井博文教団社会委員長による開会礼拝で始まり、釜士達雄委員の司会で木村利人氏(恵泉女学園大学学長)の講演を聴いた。今回の委員長会議の主題は「地域に生きる教会の苦悩」いのちを守るために」で、演題は「いのちを選びなさい」(申命記30・19)であった。

前者の内容は①真実を告げる。②検査の内容と目的を告げる。③処置の仕方を提案する。④選択を委ねる。⑤リスクを説明する。⑥治療しない場合どうなるかを告げる。⑦納得したか確認する。⑧セカンド・オピニオンを告げる等である。日本ではまだ充分な理解と実施がなされていない。従って、本人に癌の告知がなされない。告知し苦痛を分かち合い、互いに祈ることが出来ることを望む。

後者については、この度臓器移植法が成立した。しかし、家族の同意で移植が

可能になり自己決定権がややふやになったことに課題が残されている。

講演後休憩を取り、質疑応答がなされた。臓器再生の研究が進んでいる、公共倫理の観点から教会は価値基準の提供ができるかとの問いに、キリスト者の立場から提言していく必要があることが確認された。

2日目は各教区社会委員

長からそれぞれの教区での取り組みが報告された。米軍基地反対運動の支援、原発及びプルサーマル導入計画への反対と監視、教会におけるセクシュアル・ハラスメントの予防と対策、部落解放センターへの支援、カルト問題への対応、平和集会の充実、裁判員制度を考える、路上生活者支援、在日韓国・朝鮮人差別の解

消、ハンセン病問題を考える、アイヌ差別撤廃への取り組み等である。

次に、全体会議が森田恭一郎委員の司会で行われた。その中で全体会議の持ち方及び委員長会議の開催時期等についての意見交換がなされた。最後に、上森俊明委員による閉会祈禱で終了した。

(福井博文報)

子さん。

牧野富士男氏(隠退教師) 10年5月25日、逝去。81歳。静岡県に生まれる。日本聖書神学校を卒業後、52年沼津教会に赴任、荒尾教会、美竹教会、真駒内教会を経て、'90年より00年まで利別教会を牧会した。遺族は、妹・角馴子さん。

三井 賢氏(市川教会牧師) 10年6月4日、逝去。68歳。東京都に生まれる。'72年日本聖書神学校を卒業後、敬和学園高校に勤務、'81年より市川教会を牧会した。遺族は妻・三井正栄さん。

広田 一郎氏(隠退教師) 10年7月22日逝去。69歳。東京都に生まれる。'69年日本聖書神学校を卒業、同年小石川白山教会に赴任し'74年まで務め退任。'84年より

事務局報

補教師登録

中村 栄 (2009・12・13受允)

深渡 歩 (2010・5・5受允)

鈴木由加子、小林 護、吉武真理、小川洋二、久保哲哉、川村尚弘、吉岡恵生、松谷祐二 (2010・5・10受允)

上田容功、野口佳男、大橋 章 (2010・5・24受允)

及川和枝、川上直哉、田尻かおり、荒井偉作、飯岡洋介 (2010・5・25受允)

小林則義、許昌範、渡辺健一、本城仰太、佐藤さゆり (2010・5・26受允)

山口紀子 (2010・5・30受允)

相見宗郎、川上清己 (2010・6・26受允)

正教師登録

西間木公孝

お詫び・訂正

4704005号2面常議員選挙、全数連記を提案へ記事、8段目「高橋潤常議員」を「高橋豊常議員」にお詫びして訂正いたします。

「地域に生きる教会の苦悩」いのちを守るために」

全国社会委員長会議

前者の内容は①真実を告げる。②検査の内容と目的を告げる。③処置の仕方を提案する。④選択を委ねる。⑤リスクを説明する。⑥治療しない場合どうなるかを告げる。⑦納得したか確認する。⑧セカンド・オピニオンを告げる等である。日本ではまだ充分な理解と実施がなされていない。従って、本人に癌の告知がなされない。告知し苦痛を分かち合い、互いに祈ることが出来ることを望む。

後者については、この度臓器移植法が成立した。しかし、家族の同意で移植が

可能になり自己決定権がややふやになったことに課題が残されている。

講演後休憩を取り、質疑応答がなされた。臓器再生の研究が進んでいる、公共倫理の観点から教会は価値基準の提供ができるかとの問いに、キリスト者の立場から提言していく必要があることが確認された。

2日目は各教区社会委員

長からそれぞれの教区での取り組みが報告された。米軍基地反対運動の支援、原発及びプルサーマル導入計画への反対と監視、教会におけるセクシュアル・ハラスメントの予防と対策、部落解放センターへの支援、カルト問題への対応、平和集会の充実、裁判員制度を考える、路上生活者支援、在日韓国・朝鮮人差別の解

消、ハンセン病問題を考える、アイヌ差別撤廃への取り組み等である。

次に、全体会議が森田恭一郎委員の司会で行われた。その中で全体会議の持ち方及び委員長会議の開催時期等についての意見交換がなされた。最後に、上森俊明委員による閉会祈禱で終了した。

(福井博文報)

子さん。

牧野富士男氏(隠退教師) 10年5月25日、逝去。81歳。静岡県に生まれる。日本聖書神学校を卒業後、52年沼津教会に赴任、荒尾教会、美竹教会、真駒内教会を経て、'90年より00年まで利別教会を牧会した。遺族は、妹・角馴子さん。

三井 賢氏(市川教会牧師) 10年6月4日、逝去。68歳。東京都に生まれる。'72年日本聖書神学校を卒業後、敬和学園高校に勤務、'81年より市川教会を牧会した。遺族は妻・三井正栄さん。

広田 一郎氏(隠退教師) 10年7月22日逝去。69歳。東京都に生まれる。'69年日本聖書神学校を卒業、同年小石川白山教会に赴任し'74年まで務め退任。'84年より

事務局報

補教師登録

中村 栄 (2009・12・13受允)

深渡 歩 (2010・5・5受允)

鈴木由加子、小林 護、吉武真理、小川洋二、久保哲哉、川村尚弘、吉岡恵生、松谷祐二 (2010・5・10受允)

上田容功、野口佳男、大橋 章 (2010・5・24受允)

及川和枝、川上直哉、田尻かおり、荒井偉作、飯岡洋介 (2010・5・25受允)

小林則義、許昌範、渡辺健一、本城仰太、佐藤さゆり (2010・5・26受允)

山口紀子 (2010・5・30受允)

相見宗郎、川上清己 (2010・6・26受允)

正教師登録

西間木公孝

主にある成長をめざして歩む

全国教会婦人会連合 第84回中央委員会

去る6月14日～16日、全国教会婦人会連合第21期第84回中央委員会が、日本キリスト教会館で開かれた。出席者は中央委員25名中23名(西中国・九州教区は欠)、準中央委員(東京五支区各1名)、要請陪席、教区陪席、事務局、取材計51名。今期主題「キリストの祝福に満たされて―エフエソの信徒への手紙を学びつつ」を掲げた3回目の中央委員会である。

開会礼拝(司式・説教、川上善子大久保教会牧師)で、「私たち教会は、十字架の赦しの下にまったく新しくされる形で成長する。しかも孤立でなく御手の内にしっかりと組み合わされ結び合わされて成長していくものとされている」とのメッセージに押し出され、会議は始まった。

1日目、前回中央委員会記録が一部訂正の上承認。2009年度会計決算報告承認、小委員会報告、その他諸報告の承認がなされた。《教区報告》15教区の報告から、教区内での

婦人会連合の存在の危機感の中何とか次世代へと働きを繋げていく模索、個教会だけでなく連帯する喜びを伝えていくことや、婦人会連合の理念活動の理解への努力など教区内の課題を共有するタベとなった。

《聖書の学び》2日目、発題と分団を通し主題をエフエソ書に問う学びは、キリストの祝福に満たされた教会の肢体として、いかに応答するか?に集中した。次に私たちは、40周年全国集会分科会のテーマに再び目を向けた。

《環境・いのち》「環境・発題／郷かしこ牧師。アジア学院との長い関わりを通して『創造主の委託にこたえ環境の保全に努める』が今期婦人会連合の活動方針となり、分科会ではアジア学院の理念と活動から環境について学んだ。特に理念「共に生きるため」に立って、自分の視点、聖書の視点、時代の視点から環境への意識を深めていきたい。

「いのち」発題／横山ゆずり牧師。神学校に入る前の看護師、助産師の時、人間の命・生と死から命とは何かを突きつけられ、献身へと導かれた。ある牧師から「命は使うもの、主のため使命に生きることである」と。分科会でも学んだように、私たちは地の塩世の光としての命を日々主の御用のために喜んでささげる

ものでありたい。

《教会・伝道》

前もって中央委員と小委員会への設問「教会で取組んでよかったこと、また課題は何か」に対する回答をまとめ、教会学校・青年会・高齢者へのサポート・修養会・信仰生活・伝道・婦人会などについてテーマ順にバズセッション(分団協議と全体会を取り入れ、直面する教会の課題を皆で確認した。教団の教会に仕える教会婦人として、伝道については今後も真剣に問い続けていきたい。

《「じのいえ信愛荘」および「じのいえ」に関して》

前回中央委員会からの継続の「じのいえ信愛荘規則」に対する要望事項について、今回も熱心に時間をかけて議されたが「じのいえ信愛荘規則」の確定を待つて次回委員会で再審議することになった。ともあれ、「じのいえ信愛荘」が存続する限り、終わりにき奉仕として見守り、支え続けていくことに変わりはない。また、建築募金は婦人会連合目標額1、300万円まであと僅か25万円。

「じのいえ」はこれまでの歩みを感じて去る5月21日閉館式を行った。目下「じのいえ」の土地建物の売却先を求めている。

閉会礼拝(司式・説教、大塚啓子清瀬信愛教会牧師)では、「内に働く聖霊によって私たち教会は愛に生きることが出来、成長していく。成長への愛の実践として、教会は『外の者との対話』が必要では」との御言葉に爽やかな風を感じた。

(成松三千子報)

パキスタン洪水被災者救援募金のお願い

聖名を崇めます。7月下旬、モンスーンによる雨でパキスタンのカイバル・パンジュトーンハ州に洪水が発生し、浸水・倒壊の被害家屋は65万軒、被災者は300万人以上、犠牲者は2,000人超にのぼると見られます。社会委員会ではすでに被災者救援活動を始めたACT(Action by Churches Together) Internationalの呼びかけに応え救援募金を行います。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

2010 年 8 月 23 日

日本基督教団社会委員長
福井博文

記

◎募金期間 2010 年 10 月末
◎目 標 額 特に定めず
◎送 金 先 加入者名／日本基督教団社会委員会
◎郵便振替 00150-2-593699
(通信欄に「パキスタン洪水被災者救援募金」とお書きください。)

〒 169-0051

東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31
日本基督教団社会委員会
(電話 03-3202-0544)

◇公募◇

EMS(南西ドイツ宣教会)、青年国際ボランティア

◎期 間 2011 年 1 月より 6 月まで
◎内 容 ドイツの保育所や教会青年部などでのボランティア活動
◎財政負担 EMS が飛行機チケット代、ビザ取得費用、健康保険、出発前ドイツ語研修費を負担、食事・宿泊・小遣いは受入れ先団体が負担
◎条 件 20 歳から 30 歳まで、英語でのコミュニケーション力、牧師の推薦状
◎募集人数 1 名(日本基督教団より)
◎問 合 先 国際関係委員会(Tel 03-3202-0544)
◎応募締切 9 月 30 日(木)、書類と下記の面接により選考
◎面 接 日 10 月 8 日(金) 午前 9 時 30 分



稲田 安子さん

苦難を乗り越えた先に



1947 年生まれ。主婦。八丈島教会員。

祖父に連れられて八丈島教会に通うようになり、素直に信仰を持ち、教会に通い続けた。しかし、受洗は40代になってからと意外と遅い。

求道者として関わり続けた関係が変化したのは、教会付属幼稚園の父母と牧師との対立がきっかけだった。狭い島の中で、それが教会不振に繋がっていくことに危機感を覚えた。幼稚園の父母と教会の架け橋になろうと決意したことだった。

「受洗してからが地獄の始まりだった」と語る通り困難の連続だった。教会の裏側を見てしまふことになり、牧師との間に壁ができた。教会はぶどうの枝であり、一つと信じていたのに、支区の交わりで「あなたの教会

の問題でしょ」と突き放され、躓いたこともあった。教会に行きたくなくなり、家族の問題に逃げるようになった。娘、自分、夫と立て続けに病を得たことも、教会を離れる口実になった。そんな時、伊豆諸島連合修養会で証しの場を与えられた。「一人の信徒の苦しみを共に負おう」と祈ってくれる人たちがいた。教会との間の壁も自分の心が開かれていなかったためだと思えた。

その後、弟である小田島牧師と共に教会合併に向かうことになる。「弟は命を失ったけれど、八丈島に教会を生み出してくれたと思っています」と語る。それ程、教会合併は大事業だった。

誰にも自分の教会という思いがある。それを乗り越えるのは本当に大変だった。牧師は「古い革袋を捨てよう」と信徒を説得し続けた。合併、牧師の死、無牧を経て新しい牧師を迎えた。「今は本当に幸せ」と言う。

八丈島は本当にたくさんの人に祈られ、支えられてきた。自分たちも少しでもお役に立てるように奉仕したいと、2つある会堂の1つの草刈りは彼女が行っている。それも喜びだという。「都会の牧師に何か言いたいことは?」と聞くと「八丈島は良い所です。心を癒しに来て下さい。自炊できない方にはご奉仕します」と、笑顔が返ってきた。

10月下旬の第37回教団総会が公示された新報8月14日発行)。すでに今年の各教区総会では教規1条に従って教団総会議員計360名が選出され(沖縄教区は10名未選出)、常議員会による推薦議員30名も選出された。総会議員は計390名である。

今、改めて教憲・教規で定められた教団総会とはどのような教会会議なのか、その主たる点を記してみよう。

教団総会を前にして

教団総会議員の任期は選挙があった年の8月1日より2年間。

教団総会への議案提出権は①常議員会、②議員10名以上の賛成があるとき、その代表者。③教区総会、④教団常設委員会および教

区常置委員会、この場合は常議員会を経なければならぬ」と規定されている。(教規21条)

教団総会で処理すべき事項は教規18条に明記されている。主なものは、教勢および教務に関する事項、議長・副議長・書記および各種委員の選挙、歳入歳出・予算決算、常議員会、各種委員会、各教区

の報告、信仰告白、教憲・教規の解釈や変更に関する事項、教師検定に関する事項などである。

祈りつつよき備えをして教団総会を迎えたい。

(教団総幹事 内藤留幸)